

2016年9月 ことばのテーブル学習会

## キーワードから考えることばの学習(16) ～質問について考える I～



言語・学習指導室  
葛西ことばのテーブル  
三好純太

なぜ、うまく質問できないのだろう？

質問のしかたがわからない？

質問することが浮かばない？

質問のタイミングがわからない？

質問したくない？

質問という行為がわかつていいない？

今回のテーマを選んだ理由(1)

発達障害の子どもは質問が少ない

その結果…

大人or子どもが一方的に話をする

その結果…

コミュニケーションが広がらない

また…

問題解決が行われない

質問とは何か

【質問】

疑問や理由などを問い合わせること  
「角川国語辞典」より

×「質問」や「疑問」という単語の由来・起源はどうしても解らなかった

今回のテーマを選んだ理由(2)

最近始めた「先生からのお話」という課題で、最後に子どもに質問をしてもらうようにしたところ、子どもの持つ質問の問題点や、質問すること自体の難しさを知ることができた。と、ということで

この課題で、子どもがしてくれた様々な質問が、今回のテーマの資源になったのだが…しかし…まずそもそも質問とは何だろう？

質問について考えてみよう



今回のキーワード

疑問と質問

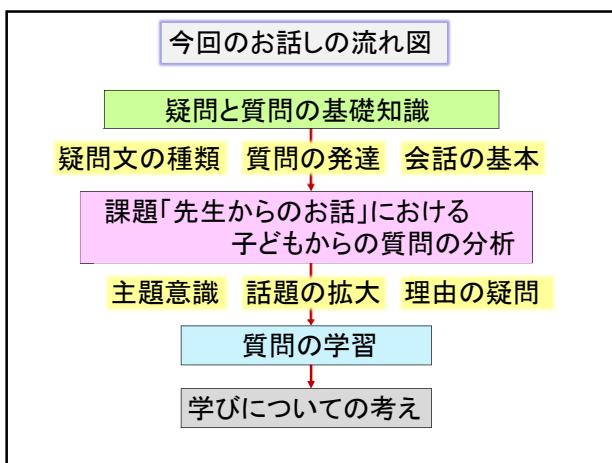
隣接対

主題の「は」

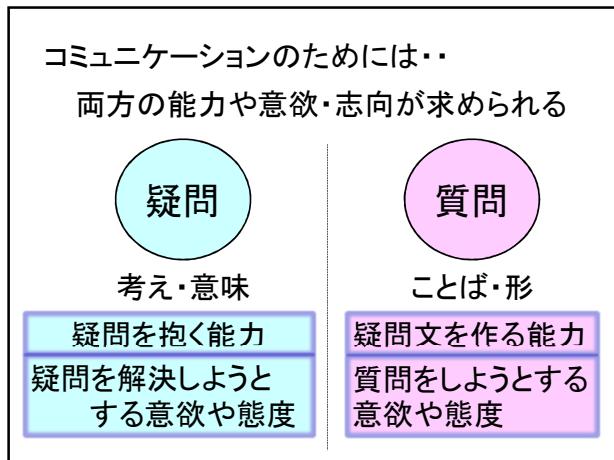
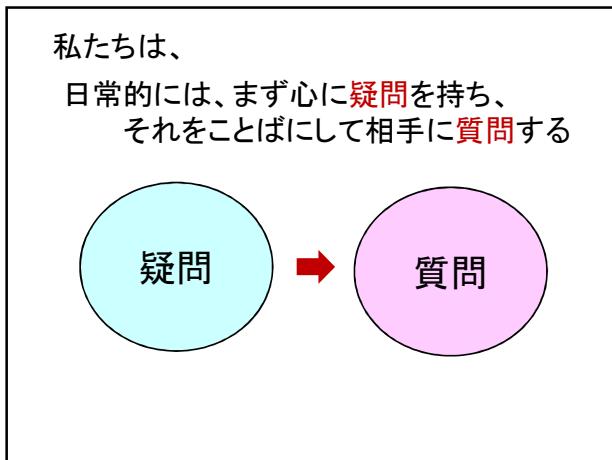
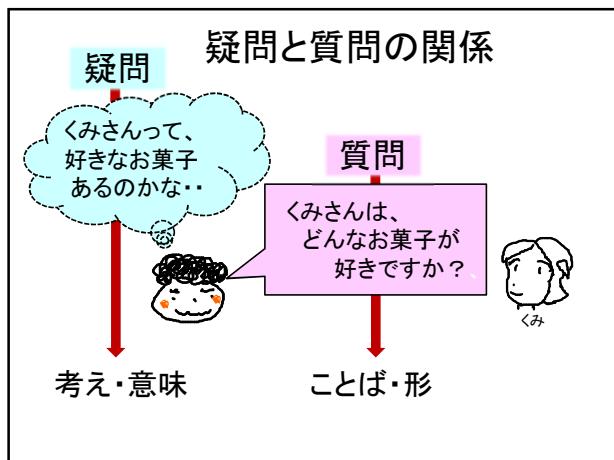
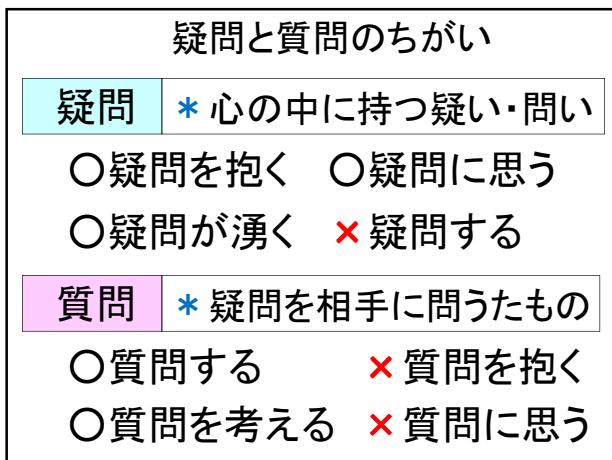
拡大と補完

モノ的情報からコト的情報へ

「とは」で問う学び



## 疑問と質問



相手の話や、自分を取り巻く環境、  
そしてもっと広く、世の中の様々な事柄…

それらについて、自ら疑問を抱き

その解決のための知識や情報を得るために

誰かに質問できること

それらの力を育てるためには、  
どのような工夫ができるだろうか

しかし…

ことばの研究や指導方法・教材は、

ふつうの文(平叙文)中心

平叙文 \*お母さんがリンゴを切る  
\*電車が到着した

もっと疑問と質問に関心を向けよう！

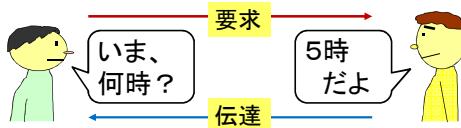
ex 疑問文の学習教材・質問の探し方…etc

## ことばの面からの質問

### ～疑問文の基礎知識～

## 「疑問文」とは

### 相手への 情報要求 の文



\*でも疑問文が情報要求でない場合もある

宿題やって  
ないの？

非難の気持ち  
の伝達

注)このような文は、「疑問表現」といわれる場合もあるが、今回はすべて、疑問文として括っている

## 疑問文の分類①: 文の形から

### ● 疑問の助詞による疑問文

### ● 疑問詞(5W1H) 疑問文

### ● イントネーション 疑問文

## ● 疑問の助詞による疑問文

### 疑問を表す助詞

「か」「の」「かな」

「面白かったですか？」

「電車にのったの？」

「これ、できるかな？」

文の終わりに  
つける

はい できます = ● YES-NO 疑問

### ● 疑問詞疑問文

なに=What いつ=When だれ=Who

どこ=Where なぜ・どうして=Why

どうやって=How 5W1H どっち・どれ=Which

「だれがきたの?」「いついきましたか?」  
「なにをたべたの?」「どこで遊んだの?」  
「どうしてやめたの?」「どうやって作ったの?」  
「どっち(どれ)にする?」

### ● イントネーション疑問文

#### 上昇調イントネーション

「試合やつた↑」 文の終わりの  
「おいしい↑」 イントネーションを上げる

また、イントネーションは、複雑なアップダウンや音の長さで、微妙なニュアンスを表現する

「だいじょうぶ♪」 疑い・心配 「はい♪」 怪訝さ

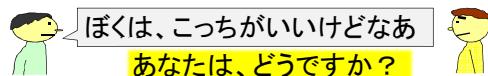
しかし 疑問を表す文の文末が  
常に上がるわけではない

「楽しかったですか↓」 ★ 疑問詞か疑問の助詞が必ず付く

「それ何ですか↓」 ★ やや疑惑的・反発的なニュアンスが漂う

また

ふつうの文でも、その口調やイントネーションによって、相手に何かを問いかけていることもある



#### 表現としてのイントネーションの重要性

● 疑問詞や助詞を使った疑問文が不完全でも、上昇調により、問い合わせの意図は伝わる

● 微妙なイントネーションの使い分けが、細かな感情を伝達する

↓  
発達障害の子どもの韻律障害の重大性

※ 韵律=ことばのイントネーションやリズムなどの性質

## こころの面から見た質問

～疑問の基礎知識～

### 疑問の分類①: 求める情報内容

● YES-NO疑問

● 5W1H疑問

● 選択疑問

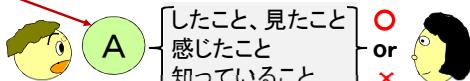
特徴: 疑問文の形と結びついている

## ● YES-NO疑問

電車にのったの？ ➔ 「うん(YES)」「ううん(NO)」

面白かったですか？ ➔ 「はい(YES)」「いいえ(NO)」

あることに対する真偽(○×)を、尋ねている



特徴：質問者は○×の対象を示さなければならぬ

## ● 5W1H疑問

だれがきたの？

いつ、いきましたか？

なにを食べたの？

あそんだの、どこ？

なんで、やめたの？

どうやって作ったの？

補充する情報を求めている



特徴：欲しい情報の条件を伝えている



## ● 選択疑問



コーラとお茶、どっちがいい？ ➔ 「コーラ」

答えは1、それとも2？ ➔ 「2番です」

ケーキ、どれにしますか？ ➔ 「これ！」

選択肢を2つ以上出して、その中の判断(選択)を求めている

特徴：★質問者は一定の情報や知識を持っている  
★質問者が相手よりも優位な立場にある

発達障害の子どもにとって

選択疑問はとても難しい疑問(文)

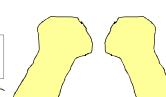
その理由は…選択疑問が、

相手を先導する立場で使われるものだから

また、疑問文の形としての複雑さや、  
複数のものを提示する記憶容量の  
問題もあるかもしれない

まずは…

どっちだ？



おはじき当て  
から始める  
いいかも

## 疑問の分類②

質問の役割がないor乏しい疑問文

形は疑問文だが、話し手の気持ち  
(ムード)を表しているもの

「え！ほんと？」「うそ？」 驚き

「なんでやらなかったの？」 非難

「公園行かない？」 劝誘

「教えてくれない？」 依頼 etc...

また、疑問文は…

コミュニケーションを円滑・協調的にする  
役割も担っている

お腹すかない？ これ、できますか？

もし、疑問文が使えなかつたら…

何か食べたい

これ、やってください

命令的だったり遠慮のない調子になる

★潤滑油としての疑問文の大切さ

実際、日常のコミュニケーションでは、純粹な疑問文よりも何らかの気持ちや意図が含まれている疑問文のほうが多い

宿題やったの？

いま何時ですか？ < 映画行かない？

いいんですか？

疑問文は、さまざまな気持ちを伝える文

### 疑問の分類③:情報の性質

#### ●絶対必要疑問 集合は何時ですか? 明確な解答

- ・その情報がないと困るもの

#### ●関心中心疑問 ゾウの鼻は、なぜ長いのか?

- ・関心や興味から発生するもの 言わないことも

#### ●共感コミュニケーション疑問 それでそれで? 紹介の間柄で

- ・会話を盛り上げるもの

#### ●理解形成のための疑問 それ、いつのこと?

- ・話の理解を助けるためにするもの 途中で行う

### 会話における疑問文の割合

日常会話において、疑問文は、どの程度出て来るのだろうか？

場面や条件に分けて、会話の分析をしてみると、つぎのような結果になった

■大人同士が、何かの話題を語り合う場合、やりとりの半分程度が疑問文で、主に話題の聞き手が発つていた

■大人対子どもの指導場面では、全般に大人が疑問文を発つする場面が多かったが、子どもが言語力や発達状況でその割合は異なった

### 質問の発達

### 質問の発達

10ヶ月 1才 1才半 2才 4才 5才

	始語 表出	→ 2語文 表出	→ 多語文 表出	→ 可逆文理解 表出	
★ 哺乳活動化					★ 構音完成
		語彙の爆発的増加			
質問	問い合わせ的 ことば・行為 指さし etc	ナニ ドコ ダレ ～カ・～ノ?	イツ ドウ・ナゼ		
助詞	「これ何？」質問期 「どうして？」質問期				
	終助詞 → 格助詞 よ・ね・わ…				
		が・で・に・を…			

### 格助詞とは

\* 文の中での単語の役割をあらわす

・ケンくんが、公園で、遊んでた

動作する人を示す 場所を示す

・かばんに、ボールを、いれる

場所を示す 動作の対象となるモノを示す

## 疑問詞と格助詞の関係

疑問詞と格助詞が出て来る時期は同じ

何・どこ・だれ… = が・で・に・を…  
その理由は…

子どもが、「場所」や「人」「時間」などを、概念として理解してきているためと考えられている



たとえば…

どこ？ 場所 → 公園・学校・プールetc

子どもが「どこ？」と尋ねられるということは、「場所」という概念(カテゴリー)ができている

そして…

公園で遊んだ ツマゴに行った のように

場所の格助詞が使えるということは、同じく「場所」という概念ができていると考えられる

つまり 疑問詞 ←→ 場所の概念 ←→ 格助詞

もし、格助詞と疑問詞が、発達において、足並みがそろうものだとすると

会話で、格助詞がまだ使えていない  
子どもは、疑問詞の使用も難しい

と考えられる(その逆も考えられる)

また、言語指導という観点から考えると

疑問詞／格助詞の学習と能力向上は、相乗的な効果をもたらす  
と考えられるかもしれない

ということで 疑問詞と質問のためにも

## 助詞の習得を進めよう

★文に少しでも助詞が入って来るように



☞ 第9回学習会「文法について考える」

しかし、質問の発達のためには、まず、その前提となるものがる

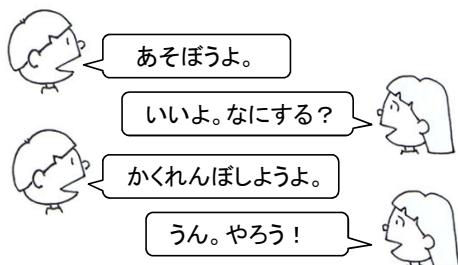
## 会話の成立

では、会話とはなんだろうか？

会話のもっとも基本的な仕組み

かわりばんこのやりとり  
ターン・ティキング

## ターン・ティキング(話者交代システム)



そして、このやりとりは、もっと小さい単位にわけることができる

**会話サンプルの分析**

「ただいま」	挨拶
「おかえり」	
「ばんごはん、たべた？」	質問
「まだだよ」	応答
「食べる？」	質問
「食べるよ、もちろん！」	応答
「何がいい？」	質問
「チャーハンがいいな」	応答

会話は、連続した2つの発話で出来ている

## 隣接対

第3回学習会「会話能力について」より

**隣接対とは**

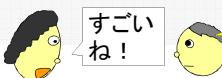
\* 会話を構成する一対のことば

「おひる、なに、たべた？」 前半部  
 「ハンバーガー」 後半部

しかし、この当たり前のような会話システムを  
 私たちは、はじめから身に付けている  
 わけではない

**幼児の隣接対の発達**

2才から認められ始める  
 隣接対後半部の応答 3才でも、50%の応答  
 5才では、ほぼ応答可



会話システムの理解・運用

そして、この隣接対の発達は  
 養育者からの援助により達成される

**母親による隣接対学習の援助**

母 おべんとう、なに、たべたっけ?  
 子 .....

母 たまごやき、あったよねー  
 なんだっけ.. おぼえてる?  
 からあげも!

★ 親は、子どもの隣接対形成を援助し続ける  
 会話のかわりばんこが生まれ、  
 コミュニケーションの充足感が生まれる

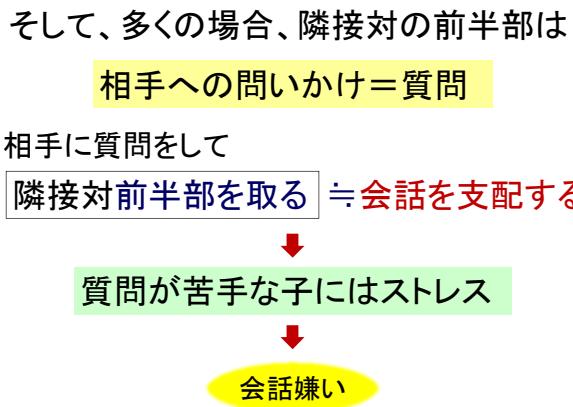
ところで… 会話の前半部と後半部には  
 上下関係がある

前半部が、後半部より強い

投げかけられたことば(前半部)に対して  
 後半部はそれに関連する応答を  
 しなければならない



今日は  
あついね  
X 腹へったなー  
O ほんとだねー



とくに…学校や、指導室での会話では

子どもに対する質問が多くなる傾向がある

質問に答えなければ  
ばならない また、相手への質問も難しいため  
かわりばんこが、続かない  
コミュニケーションが受身・抑圧的になる

かわりばんこを、続けるためには…

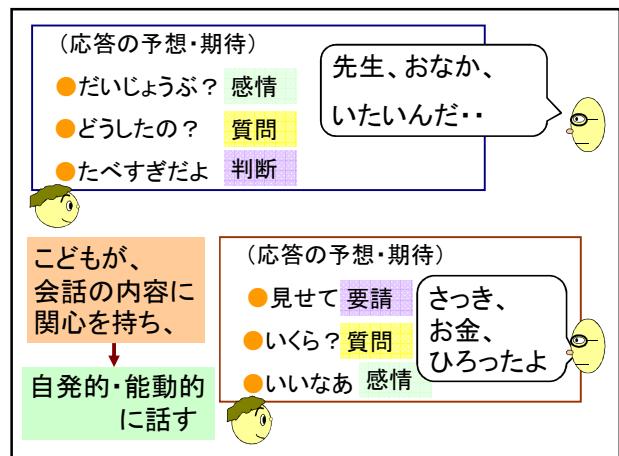
子どもに隣接対の前半部を取らせたい

では、どんなおしゃべりを  
すればよいだろう?

たとえば…

子どもからの **質問や要請・感情表現**  
を促すようなもの

隣接対前半部を担えるもの



でも…

能動的なコミュニケーションとは  
何だろう?

相手にどんどん質問し  
自分からもよくしゃべる

ことだけだろうか?

話し手と聞き手それぞれに、もっといろいろな役割があって、会話を支え合っているのではないだろうか?

質問のための課題

先生からのお話

## 「先生からのお話」の流れ

自分自身の体験を短いお話にして語る

※この課題を始めたころは、話だけだったが、最近は写真や、ときに、動画を見せながら、話を進めている

話を聞き終わったあと、話の内容について、子どもに、何か質問をしてもらう

## 「先生からのお話」の目的

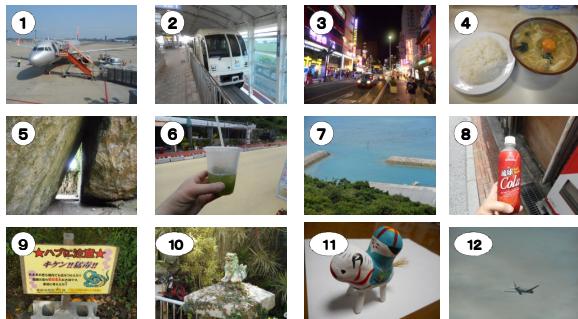
①語りの学習

\*語りのモデルに触れ、自分の語りの参考とする

②質問の練習

\*話の内容の中で、質問できる部分を見つけて、先生に質問をする

## 「先生からのお話」例 「沖縄に行ったこと」



## 写真や動画を示すことの良し悪し

### 長所

- ・興味を引きつけ最後まで聴かせられる
- ・語りの構成(プロット)がわかりやすい
- \*画像に関する質問は得やすい

### 短所

- \*画像にばかり注意が行ってしまう
- \*自分なりの話のイメージ化を弱める

そして、先生のお話に対する質問タイムになるのだが..

そこで得られる子どもの質問を、まず、つぎの4つ+1に分類してみた

1 適切と思われる質問

2 不適切と思われる質問

3 ことばに誤りがある質問

4 質問になっていないもの

途中質問

### 1 適切と思われる質問例

沖縄で、ほかにどんなものを食べましたか？

モノレールは、何分くらい乗りましたか？

味噌汁は、おいしかったですか？

沖縄には、なぜ電車がないんですか？

★適切な質問とはどのようなものなのだろうか？

## 微妙と思われる質問例

- 沖縄は、どんなところですか？
- 朝ごはん、食べましたか？
- 飛行機、楽しかったですか？
- 先生は、青森は行ったことがありますか？

不適切・  
誤りとまでは  
言えないが、  
やや戸惑う  
質問

原因は、会話の軸や常識からの  
微妙なズレにあると思われる

## 2 不適切と思われる質問例

- 沖縄に行ったんですか？
- ドーナツ食べましたか？
- 水族館に何で行きましたか？
- 飛行機は、どうやって飛ぶの？
- こわかったでしたか？

## 不適切と思われる質問の分類

- 話の内容と無関係な質問
- 語っていた内容を聞く質問
- 話のテーマから遠い事柄の質問
- 当たり前のことを聞く質問
- 連想や思いこみによる質問
- 対象がはっきりしない質問

## ●話の内容と無関係な質問

- 先生、今日、なに食べた？
- 誕生日は、いつですか？

考えられる原因是…？

- ★課題が理解されていない
- ★題材一質問関係がわかつていない

読解問題で本文と関係ないことを書く

## ●語っていた内容を聞く質問

- どこに行ったんですか？ 沖縄に、行ったの？
- 人形、買いましたか？

考えられる原因是？

- ★話をよく聞いていない
- ★話の内容を忘れている
- ★質問と言うより内容確認
- \*「沖縄行ったんだよね？」のような念押したら適切

質問が浮かばないので、わかっていることを質問にしている…？

## ●話のテーマから遠い事柄の質問

- 映画館は、どんな建物でしたか？
- エレベーター乗りましたか？
- 高校生は夜、映画、見れるの？

考えられる原因是？

- ★主題(話題)意識の乏しさ
- ★興味・関心の偏り

**●当たり前のことを聞く質問**

アイス冷たかった？ 電車、お金はらった？  
アイスは冷たいもんだ 電車はタダじゃないよ…

考えられる原因是？

- ★常識の乏しさ
- ★イメージの共有？
- アイス冷たいよな 冷たかった？

話の中の省略の理解  
自分の語りでも、当たり前を述べてしまう

**●連想や思いこみによる質問**

カルピスおいしかった？ カルピス飲んでないし…  
なんで、つまんないの？ つまんぬくないし…

考えられる原因是？

- ★推測や創造と現実の不分明
- 関連として 願望を事実として述べる／内的世界への没入
- ★自他の心理洞察の未熟さ
- \*自分の気持ちや嗜好の他者的心への投影

**3 ことばに誤りがある質問**

映画に行ったの、何ですか？  
どうして飲み物が注文？  
沖縄から行くまで何時間かかりましたか？  
何の飲み物の先生ですか？  
その他の歌って、どういうことですか？

**ことばの誤りの分類**

- 疑問詞選択の誤り
- 助詞の誤り・脱落
- 疑問文の語順の誤り
- 時制の誤り
- イントネーションの誤り
- 単語の使い方の誤り

**●疑問詞選択の誤り**

乗り物は、**どれ**になりましたか？ 何に の誤り  
どうして行ったんですか？ どうやって の意味  
！文としては意味が通ることもあるので 相手に誤解されやすい

**●助詞の誤り・脱落**

なに**が**食べた？ なに、食べた？ 「なにを食べた？」が完全な文  
どこ**で**行ったんですか？ どこに の誤り  
！ふつうの文を作る場合より、質問では、助詞の誤り・脱落が、多くなる印象がある  
ふつうの文では、かたまりとして 言えても、疑問文では文法が必要 くるまにのる

### ● 疑問文の語順の誤り

食べたの、先生は、なーに？

先生は、何を食べたの？ の誤り？

！助詞が少なく、思い浮んだ順に、  
単語を並べていると思われる場合が多い

ごはん…先生…食べた？…どこ？

日本語の基本文型の習得が必要

☞ 主題の「は」

### ● 時間表現の誤り

海で泳ぎますか？

海で泳いでますか？

海で泳ぎましたか？ の誤り

さらに…

ハワイに行くことがある？

ハワイに行ったこと がある？ の誤り

！このような複文は文法的に高度だが、  
YES-NOを聞く疑問文では、不可欠なもの

### ● イントネーションの誤り

バス、乗った↓

文末のイントネーションが下がっている

！質問か否かが判断しにくい



つねに上昇調で話す子ども

ごはん食べました↑

！質問か否かが判断しにくい

### ● 単語の使い方の誤り

海は、どうして泳げなかったの？

どうして泳がなかったの？ の誤り

西葛西から、きゅうに近くですか？

西葛西から、すぐ近くですか？ の誤り

！動詞や副詞、助動詞にエラーが多く、  
質問のニュアンスを取り違えやすい

### 複合的誤り方

どこの家族旅行で、飛行機で、  
何をしましたか？

家族旅行で、飛行機に乗って、どこに行つ  
て、どんなことをしましたか？

と言いたかったのでは？

でも…

誤ってはいるが、何となく聞きたいことは解る

### 4 質問になっていないもの

飛行機、乗りたい。 希望

この前、ディズニーランド行ったよ。 報告

なんで、夜に映画行くかなあ。 感想

考えられる原因は？

★質問の概念ができていない

★課題の意味がわからっていない

しかし…「先生からのお話」における  
さまざまな不適切応答は、評価できる！

- ★少なくとも課題に応じてくれている
- ★会話を参加しようとしている
- ★語り手への共感を表していることもある
- ★話を聞いてたよ／解ったよ、ということを伝えようとしている etc...

ともに会話を作ろうとしている

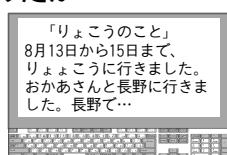
質問してみよう！という意欲と行動が大切

「先生からのお話」の課題を始めた頃は  
途中質問を禁じていた  
その理由は…

終わってからね

- ①語りを聞く練習、という目的のため
- ②語られた内容を、思い返してから、質問を考えて欲しかった
- ③不明な部分があっても、続きを聞きあとで解決して欲しかった

「先生からのお話」をする前に、いつもまず、子どもから何かお話ををしてもらって、それを口頭作文するのだが…



そのときは、子どもの語り  
の途中で質問してばかり

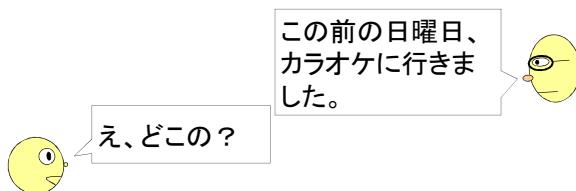
え、それって誰？  
いつの話なの？

自分の理解を補うために途中質問せざる得ない！

☞●理解形成のための疑問

## 途中質問について

途中質問＝話しの途中でする質問



たとえば…

私たちが、物語を読んだり、映画を観たり  
するのは、問題解決の動機のため  
あの人は、いったい誰なんだろう？

この車はどこに向かっているんだろう？

その謎が先を読もうという意欲につながる

だから、語りを聞く練習としては、  
とりあえず最後まで聴いて欲しかった  
しかし…

「先生からのお話」をする前に、いつもまず、子どもから何かお話ををしてもらって、それを口頭作文するのだが…

途中質問にも、  
それなりの必要性や必然性がある  
と気づいて、それから「途中質問あり」とした  
ただ、途中質問をする子どもの  
様子を見ていると、

理解を補うという目的以外で  
途中質問をしている のではないか

と思われる場面が多くあった

### 子どもの途中質問の理由もしくは特徴

#### ●自分の理解を助けるため

★正確に理解しようという意識の高い子どもに多い  
☞第11回学習会「自己認識を考える：問い合わせ」

#### ●質問ができるところとしておく

★記憶や再構成の難しさを自覚している？

#### ●思いついたことをすぐ口にしてしまう

★衝動性の高さの問題

話の腰を折る

それから、もうひとつ。途中質問には、  
それを行いやすい言語的な特徴がある

### 途中質問は疑問文が簡単で済む

そのあと、お昼ごはんを食べました。

何、食べたの？

それから、おみやげを買いました。

どこで買ったの？

お話を終わってからの質問であれば、  
「お昼は、何を食べたの」と、聞く必要がある

☞「主題の「は」」

そして、もうひとつ

協調・協同的な理由で、途中質問を  
していると思われる子どももいた  
それが…

●語り手を、もしくは会話を盛り上げるために  
これを

おしゃべりが好きな子どもは無意識に  
行っている

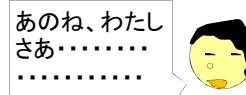
何かを話題にしている会話を分析すると、  
質問のほとんどは聞き手が行っている



え、ほんと？

それで？

なんで？



あのね、わたし

さあ……

……

……



適切でテンポのよい途中質問は、相槌とともに、話し手を乗せ、会話を盛り上げる

会話は、話し手と聞き手が、テーマ（話題）  
を、ともに支え合って作り上げるもの

☞理解形成のための質問 ☞第8回学習会「語りについて」

そして…

「先生からのお話」課題で、  
不適切な質問として、とても多いのが

対象がはっきりしない質問

おいしかったですか？

混んでましたか？

この質問の特徴は何だろう？

主題の「は」

 ● 対象がはっきりしない質問 

おいしかったですか？ こんでましたか？  
なにが？ いつのときのこと？

考えられる原因のひとつは？

★心理洞察の未熟さ  
自分が、聞きたいことは、相手もわかっていると思っている  
しかし、この誤り質問は別の原因の場合もある

このタイプの質問を疑問文の形から考えてみると

単語の要素の足りない  
不完全な疑問文と考えることもできる

モノレールは、「こんでいましたか？」  
この文は モノレール は、こんでいた  
という文の疑問形  
「とりたて」の助詞=話の主題をしめす

質問における主題の「は」の役割

ケーキとプレゼントを買いました   
ケーキ は、いくらでしたか？

ケーキは ということばで、質問対象を絞り込まなければならない

相手の会話や語りの内容の中で、  
どの部分を主題にした質問か  
ということを相手に明確に伝える

また、文の形としては

主題を示すことばは、文の最初に来る  
おひるは、ハンバーガーを食べた ふつうの文  
おひるは、何をたべましたか？ 疑問文

でも、もし英語だったら  
What did you eat for lunch  
↑  
主題を示すことばが、文の最後に来る

ところで…

大学1年のとき、英会話の第1回目の授業で、外国人の先生に対して、こんな質問をした。

Our cards where is go ?   
私たちのカードは どこに いったんですか？

と、聞いたつもりだった

このでたらめ英語は、日本語の文の語順で、英単語を並べたために生まれたものだが…

日本語の疑問文を考える上で興味深い!?

なぜ、疑問文から「主題」が抜けている質問が多いのだろう  
その大きな理由は

発達障害の子どもの  
主題意識の乏しさ・難しさ

主題意識とは  
さまざまなものから、注目するものを絞り込み、そして、それに注目しつづける意識

いまは、これ！  

この主題の苦手さは色々な学習課題で現れる

文章配列問題 \*文を並べ替えてお話を作る課題

- 2 おひるから雪がふり出しました。
- 3 夜になっても、雪はやみませんでした。
- 1 きのうは、とても寒い日でした。

この課題で、子どもがいちばん  
間違えるのは第1文

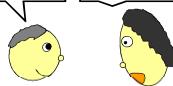
第1文は、話の舞台設定＝主題となる部分  
主題意識の乏しさ

人とのコミュニケーションにおいては

相手と自分が、同じテーマ(主題)に注目する  
ことで、会話が成立する

うん あついね

だから



主題: 気温

主題意識と主題の共有は  
コミュニケーションの基盤

発達障害の子どもは、注意の維持や、共感性などの問題で、主題意識に未熟さが強い

あいまいな質問を減らすためには、  
まず、主題意識を育てる必要がある

### 主題の「は」の質問のために

#### ● 主題意識を育てる

- ☞ 第2回学習会「会話能力を中心に」
- ☞ 第7回学習会「算数文章題を考えるⅠ」
- ☞ 第8回学習会「語りについて考える」
- ☞ 第12回学習会「算数文章題について考えるⅡ」
- ☞ 第11回学習会「自己認識について考える」

#### ● 主題の「は」から始める質問の練習

### ● 主題の「は」から始める質問の練習

#### 「～は」質問① たべたもの

\_\_\_\_\_は、なにをたべましたか？

先生は今日、まず朝ごはんを食べました。  
12時には、おひるごはんを食べました。そ  
れでさつき、おやつを食べたよ。



○ 何を食べましたか？ それじゃわかんないよ

\* 質問の対象(主題)を、文頭に置いて疑問文を作る

○ お昼ごはんは、何を食べましたか？

### 「先生からのお話」課題における 子どもからの質問の全般的傾向

ことばの未熟さが強い子どもほど

#### ● 疑問詞の使用が少なかった

\*「楽しかった？」のようなYES-NO疑問が多い

#### ● 理由を尋ねる質問が少なかった

\* 例えば旅行の動機などは、聞いてもらえない

#### ● 話題を広げるような質問が少なかった

モノ的情報から  
コト的情報へ

**モノ的情報とコト的情報**

モノ的情報	コト的情報
なに だれ どこ いつ	なぜ・どうして どうやって どんな

\* 名詞で応答できる

**易** ← → **難**

**「キツネの人形を買いに行ったこと」**



このお話は、子どもだけではなく  
お母さんにも質問をしてもらった  
すると、質問のほとんどは、  
「なんで、キツネの人形なんですか？」  
「なんで、お人形をあげたんですか？」  
という**理由を聞く質問**だった  
そして、もうひとつ気になっていたことは、  
(その女の人は、だれか?) という点だった  
でも、子どもに同じ話をしても、このような「なぜ」  
の質問がなされたことは、ほとんどなかった  
それは、なぜだろう?…

**物事の原因や理由を聞く質問**

**なぜ・どうして**

原因や理由が、質問できるためには、  
人間の行動や社会の出来事に対する  
**コトの知識(常識)**が必要



☞ 第10回学習会「読解問題」: コトのネットワーク

人間は生来、A **だから** B なんだ、と考える  
それは、  
**物事の間の因果関係に対する知識**  
を基盤として  
**物事を関係づけて捉えようとする本質**  
から生じている  
だから、「なぜ」という問い合わせが、無限に生まれる  
発達障害児の「なぜ」の少なさは、関係性に  
に対する知識と志向の乏しさが影響している

**「なぜ」は、相手の心への接近**

なぜこの人は、こうしたんだろう?

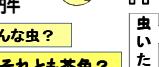
もし、自分だったら?  
→ そんなことしないのに…  
→ こうするのに…

**相手に自分を置き換える**

||

**語り・会話への能動的参加**

**コト情報の質問に必要なもの**

- 理由・原因 なぜ・どうして 
- \* 物事の因果関係や価値概念の理解
- 方法 どうやって 
- \* 行動・行為のプロセスの理解
- 状況・様相 どんな 
- \* 事物の性質・属性の知識・概念の形成

応答の内容をある程度予測している

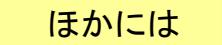
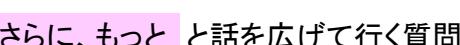
**「先生からのお話」課題における子どもからの質問の全般的傾向**

- ことばの未熟さが強い子どもほど
- 疑問詞の使用が少なかった
  - \* 「楽しかった？」のようなYES-NO疑問が多い
- 理由を尋ねる質問が少なかった
  - \* 例えば旅行の動機などは、聞いてもらえない
- 話題を広げるような質問が少なかった

## 補完と拡大

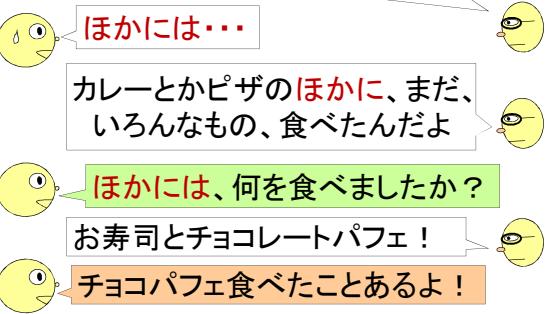
補完質問	拡大質問
集合は何時ですか？	それからどうしたの？
理解のために足りない情報を補う	話題を展開するための質問
足りないと困る	あれば楽しい
必要度 高	必要度 低？
守りの質問	攻めの質問

**拡大質問のキーフレーズ**

- ほかには 
- ほかには、何を食べましたか？
- ほかには、どんな動物がいましたか？
- 食べたものも、動物のいくつかも 
- もうすでに話の中で触れている
- さらに、もっと と話を広げて行く質問 

**「ほかには質問」の誘導**

ほかには、ってことばを使って質問してみて？



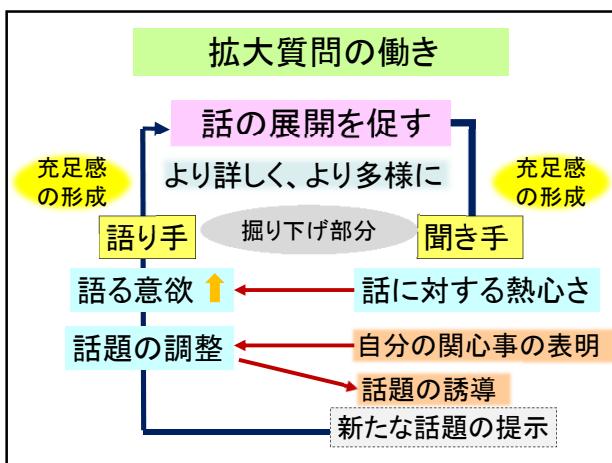
ほかには…

カレーとかピザのほかに、まだ、いろんなもの、食べたんだよ

ほかには、何を食べましたか？

お寿司とチョコレートパフェ！

チョコパフェ食べたことあるよ！



## 「先生からのお話」課題における質問援助の方法

### ●話の内容による質問の誘発

### ●質問のパターン化・その他

### ●話の内容による質問の誘発

話の中に、わかりやすい **X** を用意する

映画を観た話で、何の映画か言わない

旅行の話で、いつ行ったか言わない

「そのお店で料理を食べました」だけで、何を食べたかは言わない

\* 予想される流れを作り結果をしめさない

### 話の中の **X** 部分とは…

**X** ふつうは

- 触れる内容 や
- 違うレベルで言う内容
- など

そこに不全感や欠落感を感じて  
質問につなげて欲しい

しかし、そのためには、子どもが前提として  
持つていなければならないものがある

常識 カテゴリー概念

### 常識

映画には題名がある

沖縄には歩いてはいけない

買う物には値段がある

雨の日は傘をさす

これらの常識がなければ、話の中での  
情報不足や不自然さを感じることはない

疑問・質問に常識形成は不可欠

### また、報告形式についての常識も重要

#### 経験の報告の基本

#### いつ・どこ・だれ・何をした

1月24日に、北海道に行きました。友だちと  
と行きました。北海道で、スキーをしました。

経験の報告の基本要素がわかっていれば  
触れていなかったものを尋ねることができる

5W1Hを骨格とした語りができることが大切

でも、常識はいつも同じではない

年齢や文化によって常識は異なる

子どもどうしの会話では、子どもの常識

日本人どうしの会話では、日本人の常識

が必要になる



先生、けん君のこと知らないよなあ

選挙のこと聞いてもなあ



自分と相手との関係の把握も必要

☞ 第11回学習会「自己認識を考える」

## カテゴリー概念

「いろんな動物がいました」何がいたの？

動物には、いろいろな種類があるよ

「そのお店で料理を食べました」何を食べたの？

そこは、ふつう料理の名前、言うでしょ

● カテゴリー概念を持っている それから

● 文脈の中での適切な 概念レベルがわかる

料理

おそば カレー

そのことが、疑問を生み、質問につながる

しかし…

たとえ大人同士でも、こちらが予想していない質問が返ってくることは多い

何かを語る場合、語り手は無意識に そこに自分の価値判断や好みを まったく中立的な語りはない 反映させている

聞き手との間のズレの発生

↓ ノイズの必要性

自分の持つ偏りの自覚が大切

## ● 質問のパターン化・その他

自発的な質問が難しい場合の援助として

■ 每回、同じ質問をさせる 何を食べましたか？

■ オールマイティな質問を覚えさせる 楽しかったですか？

■ 家族と相談して質問を決める

■ 質問のしどころをもう一度示す

「先生、お店でお昼ごはん食べたって言ってたよね？」

## 質問の学習

### 質問の学習

疑問の  
学習

質問の  
ことばの  
学習

疑問を抱く能力・意欲 質問をする言語能力

質問の場における  
コミュニケーションの学習

## 質問の場における コミュニケーションの学習

以前の学習会アンケートで寄せられた質問に関する問題例

### ★ 質問のタイミングがわからない

\* 会話スタイル(ターンテイキング etc)の未確立

### ★ 質問の声が小さい

\* コミュニケーションルールの未確立

### ★ 同じことを何度も尋ねる

\* 固執や不安、反復の楽しさなどの問題

## 質問のことばの学習

● プリント学習(パターンプラクティス)

● 題材一質問型学習

● 対人型学習

● 読解問題

### ● プリント学習(パターンプラクティス)

100枚プリント

疑問文  
練習ワーク

発売予定

### ★ 疑問文の作成を目的としたワーク

製作目的

疑問文教材の乏しさ

↓  
疑問文への気づきを高めたい

### 疑問文配列問題

質問文を作ろう

単語を並び替えて  
疑問文を作る

学習の目的

#### ・ 疑問文の仕組み

疑問詞 動詞 助詞

主題 動詞 助詞

etc

#### ・ 疑問詞の理解

### 疑問詞選択問題

質問のことばを選ぼう

質問への応答から  
疑問詞を選択する

学習の目的

- ・ 疑問詞の理解
- ・ 助詞への注目

なにで なにを  
なにに なにが

### 疑問文助詞補充問題

質問に助詞を入れよう

応答をヒントに、  
疑問文に助詞を入れる

学習の目的

#### ・ 格助詞への注目

なにを ← パンを

どこで ← いわで

#### ・ 終助詞への注目

丁寧: ~か? ふつう: ~の?

### 疑問部分探索問題

  
たべていますか？

いつ だれが どこで なにを  
裏面

見えないところを 質問しよう  
イラストの隠されている部分について、質問する文を作る  
学習の目的

- ・疑問となる部分への気づき
- ・対応する疑問詞の選択

### 文型変換問題

ちがう文に変えよう

～ましたか？  
1 おやつを、たべました。  
れい(おやつを、たべましたか？)  
2 がっこうに、いきました。  
(がっこうに、いきましたか？)

～の？  
1 おやつを、たべた。  
れい(おやつを、たべた？)

ふつうの文を 疑問文に 書き換える  
学習の目的  
・YES-NO 疑問文への 変換練習

### 文型変換問題

質問の文に変えよう

1 おやつを、たべました。  
れい(なにを、たべましたか？)  
2 ジュースを、のみました。  
(なにを、のみましたか？)  
3 がっこうに、いきました。  
(どこに、いきましたか？)  
4 けんくんが、なきました。  
(だれが、なきましたか？)

ふつうの文を 疑問文に 書き換える  
学習の目的  
・5W1H疑問文への変換練習

### ●題材一質問型学習

問題を作ろう

短い文章を 題材として 設問を作る  
学習の目的  
・文章の内容に対する疑問文を作る練習  
→自分日記問題

きのう、コンビニにいきました。アイスをかいりました。

1 いつ、いきましたか？  
(きのう)  
2 いつ どこ だれ なに  
(アイス)

### ●対人型学習

しつもんをしよう①

【A】 に、きました。  
【B】 前は、荷ですか？  
【C】 よしたひろこ  
【D】 帰りなくだものは、荷ですか？  
【E】 かき  
【F】 きのうは、どこに行きましたか？  
【G】 イトーヨーカドー  
【H】 白軒車にのれますか？  
【I】 のれる

質問をしよう  
子どもが、家族に、プリントにある質問をして、応答を書きこむ  
学習の目的

- ・疑問文に触れる
- ・他者への気づき
- ・報告の練習

### インタビューをしよう

子どもが、家族に、テーマに沿った質問をして応答を書く  
学習の目的

- ・自他の違いの理解  
↔「自分のことを話そう」との対比
- ・他者への関心
- ・報告の練習

インタビューをしよう② 飛行  
＊インタビューした人（）  
どんなところに、旅行に行ったことがあるか。  
沖縄、日光、タヒチなど  
いきばん、よかったですのは、どこか。  
タヒチ  
いま、いちばん行きたいところはどこか。  
イースター島  
どんな人と、旅行に行ったことがあるか。  
友だち、家族など

個人に対する関心・知識の大切さ

なぜ「先生からのお話」のような課題を始めたのか

自分の個人的な背景や価値観、特徴・傾向などを知つてもらう

そのような関わり方によって、先生と子ども双方が、積極的に参加するコミュニケーションが生まれるのではないか

たぶん…

会話の中で、子どもに質問をしてもらうために、もっとも必要なのは

子どもに熱心な聞き手になってもらうこと

話に関心を持ち、耳を傾けられることが

さまざまな質問の源泉になる

そして、そのためには

互いに相手をよく知り、歩み寄りながら関心のある話題を共有することが大切

### ● 読解問題

読解問題を通して、日常会話における質問の理解と応答能力を育てる



☞ 第10回学習会  
「読解問題について考える」

### 「とは」で問う学び

**とは**

\* 着目するものを示して  
これこれなのだ、と説く

カエルとは、両生類の一種だ。

GNPとは、国民総生産のことです。

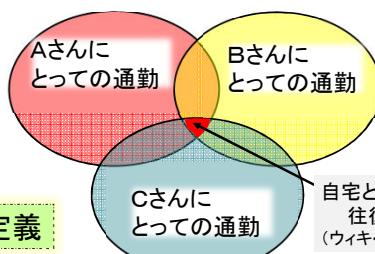
「とは」は、「と言われるものは」の略  
=「世に～と言われるものは」

みんなが一般的に使っていることばの〇〇  
は、どういうものかというと…

「とは」の問い合わせ、どんな問い合わせ  
物事の、みんなにとって共通な部分を考えること

「通勤」とは

= 定義



この「とは」を集めたものと言えば…

### 百科事典

エンサイクロペディア

百科事典(百科全書)が生まれたのは、

フランス革命前夜のフランス

百科事典を作ったのは、

ドゥニ・ディドロ(1713~1784)

★ディドロは、なぜ百科事典を作ったのか？

社会のさまざまな人が、さまざまな知識を共有することで、より良い社会が作れる

知識には上下はない

啓蒙思想

だから、みんなが「なるほどそうだ」と思えるわかりやすい説明を考える

知識の共有 = 共有できる形で知識を語る

今ある知識を、広くたくさん学びたい

物事を共有できるような知識として捉えたい

すでにある知識を、広くみんなに説明するための「とは」

しかし…

「とは」には、もうひとつの問い合わせがある

まだ、よく解っていないこと、そして、きっとこれからも完全には解らないことを問う、未知の「とは」

物事の本質や仕組みを考え続ける

未知の「とは」

ことばとは？

意識とは？

質問とは？

人間とは？

心とは？

遠い地点を目指す、未知の「とは」の問いは

問題解決としては困難すぎる問い

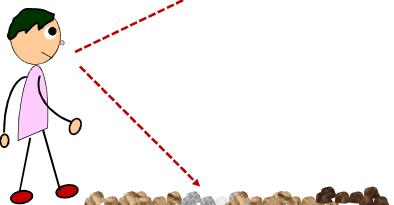
そればかりを考えていては、今日明日の問題には対応できない

ただし… 遠い所を目標点にしておけば、少しずつそこに引っ張って行ってもらえるのではないか

また… 遠い所(本質的なもの)から、身近な課題のアイデアが浮かぶこともある

「とは」の問い

足元と遠くをバランスよく見る



【参考・引用図書】

- 「ディスコース」 くろしお出版
- 「談話分析の可能性」 くろしお出版
- 「日本語疑問文における判断の諸相」 くろしお出版
- 「ことばの発達と障害」 大修館書店
- 「ことばの誕生」 日本放送出版協会
- 「生活知と科学知」 放送大学教育振興会
- 「社会言語学への招待」 ミネルヴァ書房
- 「日本語の文法」 ひつじ書房
- 「通勤の社会史」 大田出版
- 「物語ドゥニ・ディドロの回想」 悠書館
- 「知識の社会史1・2」 悠書館

